



ぽ

か

ぽ

か

おかげさまで
ファミリー・サポート・センターは
20周年を迎えました!



ご挨拶



平塚市長
落合克宏

平塚市ファミリー・サポート・センターが開設 20 周年を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

ファミリー・サポート・センターは、子育ての手助けを必要としている人と子育てをサポートできる人とが会員となり、互いに助け合い、支え合う仕組みです。

設立以来 4 万 5 千件以上の支援活動に携わってきた会員の皆さまやスタッフの皆さまに心から感謝いたします。

経済や社会の急激な変化を受けて、人々の価値観や生活様式が多様化しています。平塚市においても、核家族化の進行や共働き家庭の増加などにより、子どもや子育てを取り巻く状況は変化しつつあります。

子どもは未来を託す「地域の宝」だからこそ、社会全体で大切に守り、育てていかなければなりません。平塚市としては、子どもへの投資を成長戦略と捉え、確かな未来に向けた子育て支援策を力強く進めていきます。

皆さまには、引き続き、子どもの明るい未来のためにお力添えを賜りますようお願いいたします。



ママと一緒に



子ども達は支援会員さんとお散歩や公園などで一緒に遊んでいただき、すごく楽しそうにしています。また子ども達の相談に乗っていただいたり、成長も一緒に共有でき、力強い味方でいてくださり本当に感謝をしております。

支援が終わると、いつも子どもたちはベランダから「バイバイ」します。支援会員さんも大きく手を振ってくれるので、子どもたちはとても満足そうです。私にとっての「ヒーロー」がお帰りになる光景も、アニメのようで大好きです。

しょうぼうしゃ
だいすき！！🚒



ファミサポライフ・ファミサポについて思うこと

支援会員として活動させてもらって19年。私の家族も巻き込んでファミサポ支援が生活の一部と言える程になっています。沢山の依頼会員さんとお逢いして、お子さんとその時間を過ごして癒しを貰ったり、感動させてもらったり。例えば、わが家に来て娘達と一緒にご飯を食べたり遊んだり、主人がおんぶして車まで行ったり…。そんな時間は娘達へも生きた教育をさせて頂いたと思う程、多くの経験をさせてもらいました。男の子の支援は沢山の発見、体験です。そんな娘達も、それぞれの職に就き子ども達の食と保育に関わっています。

働きながら子育てするお母さんお父さん。子育てに不安があったり、手助けを必要としている方、ファミサポという子育て支援をする場所がある事を沢山の方に知ってほしい。孫が生まれて今まで以上に応援したいと思っている人はいるよ！！と伝えたい気持ちです。これからもめぐりあいを大切にします。



子育ての悩みは尽きないものです。私もそうでしたが、一人で抱え込みがちになります。なので、自身の子育てが終わった今、子育て中の方にとって

「気軽に相談できるご近所さん」になればと思い、支援会員に登録しています。

現在、二歳児から小六までのサポートをしています。サポートを終えた中学生も、たまに会うと声をかけてくれるので、とても感激しました。これからも、たくさんの子ども達を見守ってあげたいです。

私自身は気付いたら古い会員になっていました。

いつも笑顔で丁寧に接して下さるアドバイザーの皆さんのおかげで多くのお子さんに出会う事が出来ました。ありがとうございます。泣きやむまで抱っこした子、家で縫い物をしたり、学校の話をしながら歩いた子・・・

たくさんの笑顔や寝顔や泣き顔にも癒されてきました。

これからも優しいオバチャン目指して頑張ります。よろしくお願ひします。



支援の様子

お兄ちゃんと消防車を見に行ったり
妹さんとひらしん平塚文化芸術
ホールに行ったり、ママの
お仕事の都合で相談しながら
やっています。



じぶんではけるよ

ひらしん平塚文化
芸術ホールに
遊びにいこっか



おうちに帰ろう！！

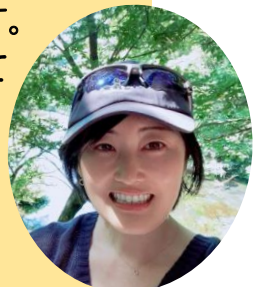
先日外出先で、女性に声をかけられました。6～7年前にお預かりした子のお母さんです。赤ちゃんだった坊やは、小学生になったそうで、随分経つのに私を覚えていてくれた事がとても感激でした。ファミサポを始めて、はや16年半、小さな子どもに関われる幸せと、素敵な出会いを沢山いただきました。今では時々、「ばあば」と呼ばれて戸惑ったり、走られると追いつけなかったりもしますが、これからもまだまだ、現役の「ファミサポおばちゃん」でいたいです。



時が経つのは早いです。改めてもうそんなに経ったのね～と思い返してびっくりしています。何かお手伝い出来る事があれば・・・と始めさせて頂いた支援。母や妹もお世話になり、懐かしい思い出です。支援させて頂いたお子様達は、今どうしているかな～？とふと懐かしく思い出す時があります。もう大きくなられ、立派な社会人ですね。ご結婚され、お子様が生まれ、またセンターを利用される方もいらっしゃるかもしれませんね。心身ともに健やかに、幸せに過ごされていることを願っております。センターの皆様には支援させていただく中で、迷うこともあり、ご相談させて頂くことも多く、その度に適切なアドバイスを頂き、私自身の事もお心遣いくださり、本当に心強く安心して会員を続けることができました。感謝しております。いつもありがとうございます。



私は育児中、両親とも遠方で知り合いも少なく大変でした。その子供達も大きくなり少し手が離れたことから少しでも育児中世代の手助けが出来ればと思い登録しています。いつの間にか17年以上が経過しました。今では生まれたばかりにサポートさせて頂いたお子様も高学年になっている方もいます。それにもかかわらず「〇〇ママ」と会いに来てくれ嬉しく思います。一緒に子供達の成長を見守り、また新たな沢山の出会いを頂け、ファミリー・サポート・センターにはとても感謝しています。





左から支援会員ご家族 右パパとお子様



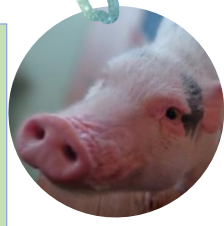
もみじの手 繋ぎし
日々を思い出す



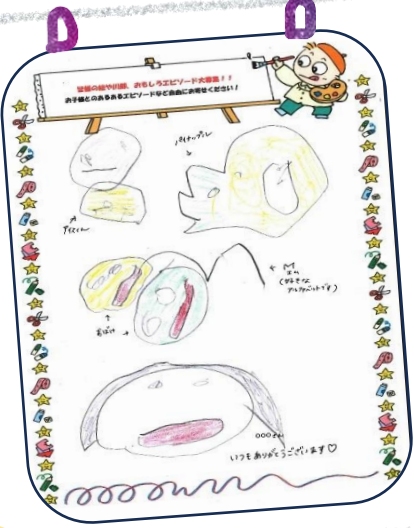
依頼会員家族と赤ちゃんを抱く支援会員



ママのお家にブタさんがいました。
「ブタさんを娘にも見せたい」
「ぜひぜひ！」
家でお預かりもすることになりました。🐷さんともお散歩したいな



ママが来て よろこび
いさむ 児で嬉し



木の幹から何を感じているのかな？

STAY HOME

コロナ禍で夫が在宅勤務になり支援をお願いすることがめっきり減りました。しかし、今まで培ってきた支援会員さんとの絆が心の支えとなっていて、困ったときに相談できる方がいるという安心感に包まれ毎日過ごしています。

不安な日々の中、互いに遠慮し合って孤立してしまうことを一番危惧しています。できる対策を行いながら、心の距離は近くありたいと思います。

にこにこ平和な世界
ありがとう☆

迷いなく どうしてと
問う あこのしわ

活動報告書より



〇〇ちゃん、お昼寝をしたそうで、思わず「いいなーお昼寝 支援会員さんも帰ったらお昼寝しよう。」と言ったら「ご飯作らなくちゃ」と言われてしまいました。確かにその通り。ご飯作ります!!



地元、親元を離れてワンオペで育児している私にとって支援会員さんの存在は親子共にありがたいです。第二の母の様に子供達の成長を見守ってくださっていて、心から感謝しています。

アンケートより

子どもを預かってもらえることもありがたいですが、何よりも困ったときに手をさしのべてくれる支援会員さんがいる心強さがあり、精神的にも心の支えとなっています。

アンケートより

子どもが小さな頃は支援会員さん宅での預かり、子どもが大きくなってからは習い事の支援をいただいています。祖父母が遠方で共働きなので、苦労も多くありましたが、ファミリーサポートのおかげで仕事も続けられ、様々なことを諦めず続けることができました。本当にありがとうございます。

活動報告書より

園へのお迎えなかなか出て来ないのでどうしたのかな?とと思っていました。先生ときよならして手をつなごうとしたら「やだ!」と言う〇〇くん「どうしたの?」という手を出して抱っこでした。車まで抱っこして帰りました。

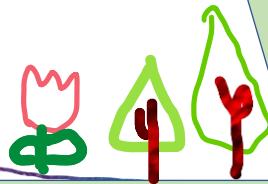
活動報告書より

お迎えに行ったらギュッと抱きついてきてかわいかったです。新しい水筒になったことを教えてくれました。お風呂の中で冬の歌をいっぱい歌って、温まりました。



アンケートより

ファミリーサポートセンターの支援会員として活動をさせて頂いてると、今までに沢山の方々との出会いがありました。少しでもお手伝いのできたらという思いでやっているつもりが、逆に私自身や家族が助けってもらうことが多くあります。支援会員として、事前打合せにいくと支援とは別のところで、繋がりがあったり巡り合わせを感じるのです。赤ちゃんの時に出会った子が毎年、年賀状で近況をしらせてくれたり、本当に、宝物をたくさんもらっています。



ファミサポ 20年のあゆみ



と子育て時代背景

平成15年

- 4月 南豊田に開設
- 6月 支援会員講習会スタート
- 7月 支援活動が始まる



平成17年

子育て時代背景 **イクメン推進**
女性社会進出 **育休制度**



平成18年

- 4月 生後一日目からの支援
産後の家事支援スタート
- 6月 講習会内容追加

平成21年

会員数1,000名を超える

児童手当の創設

保育所等整備の加速計画

幼児教育の無償化



平成22年

平成24年

平成25年

- 8月 病後児保育「なでしこ」開設

出生率低下 少子化問題 働き方改革

平成29年

会員数2,000名を超える

産後の家事支援、小学生複数支援サポートが
廃止となる

- 4月 平塚ネウボラルームはぐくみが始まり、
産後の家事支援サポートを行う

子育て支援の充実 小規模保育の拡充
育児休暇や保育料の無償化

令和元年

5年に一度の救命講習受講が必須となる

令和2年

コロナによる緊急事態宣言発令

学校、保育園の休校や臨時休業、外出制限により
子育て環境に大きな影響を与える



令和3年

- 4月 麦・もんもん病児保育室開設
あずかるこちゃんスタート

コロナの影響により、オンライン教育の進化



令和5年

- 1月 産後ケア事業がスタートする
- 4月 追分（福社会館内）へ移転

活動内容トップ3

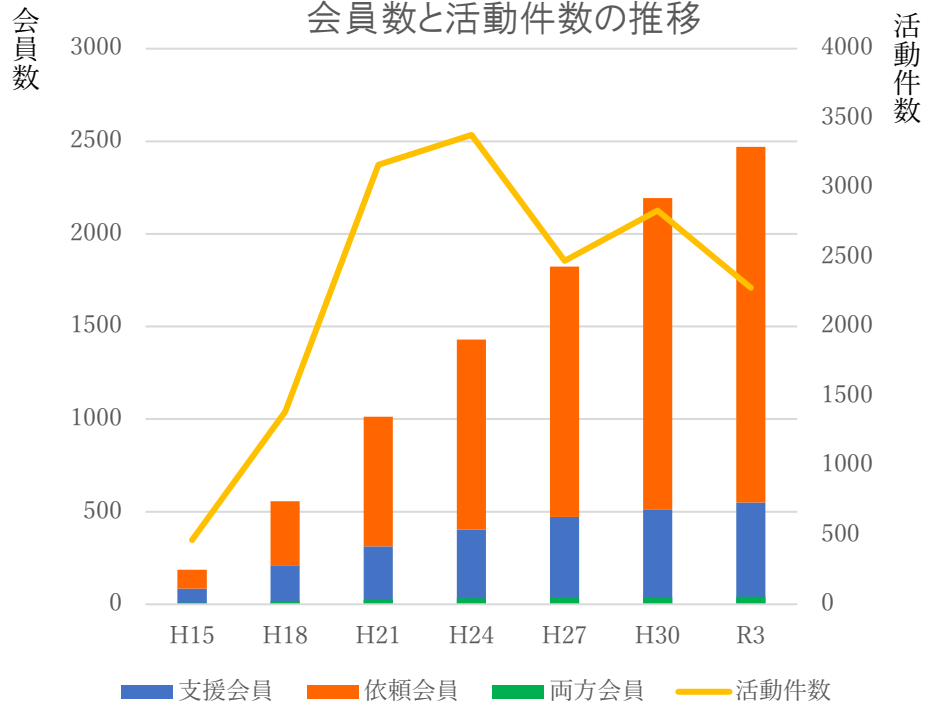
開所 2003

- 1.学童の迎え預かり
- 2.保育園、幼稚園の迎え預かり
- 3.保護者用事の際の預かり

現在 2022

- 1.習い事の送迎
- 2.保育園・幼稚園の迎え
- 3.小学校、学童保育の
開始前預かり及び送り

会員数と活動件数の推移



1年を通して、講習会だけでなく、会員の交流会や研修会を行ってきました。これからも会員が参加しやすい会になるよう企画していきたいと思ひます。

パワースさんによる
女性目線の
防災減災の心得
簡易防護服の作り方

アロマオイルと
ハンドマッサージ

子どもに届く
言葉かけ
～気になる子ども
への関わり方～



幼児の
心肺蘇生法

自分でできる
リンパ
マッサージ



学んで遊んで
子どものころ
再発見

童謡メドレーで
楽しむ
人形劇の世界

コロナ禍における
ストレス・精神障がい
の理解と対応



一緒に食生活を
考えてみませんか？



他いろいろ

マジシャンズの
マジックショー
とマジック教室

絵本の
読み聞かせに
ついて学ぼう

童謡を
歌おう

正しい知識と
偏見をなくそう
精神障がいの
あれこれ



～ 会員になるためには ～

まずは平塚市ファミリー・サポート・センターへお電話ください。会員登録のご案内をします。

☆育児の手伝いをして欲しい方☆

依頼会員

市内に在住、在勤又は在学する方で0歳から小学校6年生までの児童の保護者の方

センターでの入会手続きが必要です（要予約）

★育児の手伝いをしたい方★

支援会員

市内に在住する、心身ともに健康で積極的に援助活動を行うことができる20歳以上の方
経験・性別は問いません

～活動は、講習会受講後になります～

◆報酬について◆

利用日時	金額（お子さん1人につき）
月～金曜日の午前7時～午後7時まで	1時間あたり700円
月～金曜日の上記以外の時間帯	1時間あたり900円
土・日曜日、祝日、年末年始の終日	1時間あたり900円

* 利用時間が異なる基準(金額)の時間をまったく場合、その時刻を含む1時間は800円

* 食事・おやつ・おむつ及び支援会員の交通費等の実費は別途お支払いいただきます

～支援会員講習会のご案内～

令和5年度 第2回支援会員講習会は、

11月29日、30日、12月1日の3日間で開催予定です。

詳細が決まり次第、平塚市HPにてお知らせします。



急募!!

ジュニア・チャイルドシート

が足りていません。
ご寄付頂ける方がいましたら、
センターまでご連絡をお願いいたします。

平塚市ファミリー・サポート・センター

〒254-0047 平塚市追分 1-43
(福祉会館内)

電話・FAX 0463-34-7844

月曜日～金曜日 午前9時から午後5時
(土、日、祝日、年末年始 12/29～1/3 は休み)

—会員の皆様をお願い—

- 報告書の提出は**翌月の3日迄**に必ずお願いいたします。
- 活動が終わり次第ご提出いただくと、回収がスムーズです。
- 令和4年度末より、報告書をメール添付にてご報告いただけるようになっています。ぜひご活用ください。

fsc@hiratsukasyakyo.net

平塚市ファミリー・サポート・センターについて詳しくはこちらから→

